

ビキニ被災 70 年から被爆 80 年へ

核兵器禁止条約への日本政府の参加を求めて

2024 年 7 月 27 日[土] 13:00~16:00 **静岡大学**静岡キャンパス内(静岡市)
会場 & オンライン ハイブリッド開催 (zoom)

1954 年 3 月、南太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁でアメリカが行った水爆実験により、焼津のマグロ漁船・第五福竜丸をはじめとした漁船と多く島民が被爆してから今年で 70 年。今年の原水爆禁止 2024 年世界大会 科学者集会では、第五福竜丸のビキニ被災の実相を確認するとともに、原水爆禁止運動の当面の課題である「核兵器禁止条約への日本政府の参加」を実現する道を探っていきたいと思います。

【動画放映】

焼津市歴史民俗資料館「第五福竜丸被災 70 年特別展」を訪れて
～静岡大学生 2 人が学芸員とともに第五福竜丸被災について学ぶ～

【講演1】

ビキニ水爆実験被災の現代的意味と課題
～隠され続けるグローバルヒバクシャ/隠され続ける核被災文書～

高橋 博子 (奈良大学文学部教授)

【講演2】

ビキニで被災した漁船員被害の広がりとその後の調査

間間 元 (静岡県保険医協会/生協きたはま診療所)

【講演3】

ビキニ被災 70 年から被爆 80 年へ ～非核日本キャンペーンの意義～

木藤 功 (原水爆禁止静岡県協議会理事長)

【総合討論】

核兵器禁止条約への日本政府の参加を求める

※発表・報告希望の方はあらかじめメールにてお申し込みください。

●参加申し込み

下記 URL か QR コードからお申し込み下さい。
オンライン参加の方には後ほど zoom のリンク等をお知らせします。

<https://qr1.jp/bDYvIj>

